

公益社団法人土岐市シルバー人材センター 令和3年度事業報告

令和3年度は、前年度に引き続きコロナ対策が最優先されるような生活が続
き、新たな変異株が流行する都度、非常事態宣言やまん延防止等重点措置が取ら
れ、日常生活が制限されました。

土岐市シルバー人材センターでも、新型コロナウイルスに感染して入院や自
宅待機をする会員や、濃厚接触等によりPCR検査や自宅待機が必要になる方
が出る状況でした。

その反面、ワクチンの接種が順調に進み、3年度末には、多くの会員が3回接
種を済ませることができ、感染者や重症者を抑えられるようになり、コロナ社会
を生き抜く環境も整ってきました。

そうした社会情勢のもと、シルバーの理念である「自主・自立、共働・共
助」を念頭に中・長期計画の目標である会員拡大に引き続き取り組んでまいり
ましたが、会員数を増やすことはできず、前年度に比べ15人の減でした。

安全就業については、事故・怪我防止の啓発を進めるとともに、草刈講習会
も実施して会員の意識向上に努めましたが、今年度も飛石による物損事故を減
らすことが出来ませんでした。

事業実績は、会員数233名、請負・委任による受注件数1,963件、契
約金額103,631,746円、就業延人員20,317人日でした。新型
コロナウイルスの影響が大きかったため、前年度と比べ、会員数は15名の
減、受注件数で113件の減、契約金額8,732,986円の減、就業延人
員1,413人日の減でした。派遣事業では、契約金額28,417,006
円、就業延人員5,074人日、派遣収益2,957,575円で、逆境の中
でしたが、前年度と比べ、契約金額3,262,882円の増、派遣収益29
5,591円の増、就業延人員は107人日の増と、3指標とも増加となり
ました。

今後も土岐市シルバー人材センター発展のため、会員及び職員一同でコロナ
感染に細心の注意を払いながら、会員拡大と就業開拓、安全就業に取り組み、
当センター事業の一層の推進に努めて参ります。

主な事業実績は次のとおりです。

| | |
|-------------|-----------|
| ① 会員数 | 233名 |
| ② 就業延人員 | 20,317人日 |
| ③ 契約金額 | 103,631千円 |
| ④ 受取事務費 | 7,382千円 |
| ⑤ 就業率 | 74.7% |
| ⑥ 派遣事業就業延人員 | 5,074人日 |
| ⑦ 派遣事業契約金額 | 28,417千円 |
| ⑧ 派遣事業受託収益 | 2,957千円 |

1 普及啓発事業

- ① 公共・民間等現場に出向いて、より一層の理解と信頼を得られるよう努めました。
- ② 入会者説明会を定期的に月2回開催した他、希望者の要望に応じて臨時説明会を通年で実施しました。
- ③ 機関紙「シルバー土岐」を年1回市内に全戸配布し、シルバー事業の紹介、会員募集の呼びかけを行いました。また、会員募集チラシは、新聞折り込みで1回と全戸配布で1回行いました。
- ④ 「親子育児教室」、「高齢者サロン」のチラシを年1回市内に全戸配布した他、「高齢者サロン」は開催地区を対象に町内回覧し、市民の方への普及啓発に努めました。
- ⑤ ホームページを活用し、入会促進、受注拡大に努めました。

2 会員の自主・自立と意識の高揚

- ① 役員の責任分担性の徹底を図り、担当分野についての把握・指導に努めました。
- ② コロナ禍により前年度に引き続き、地域集会やボランティア活動などの行事が中止となり、例年の活動はできませんでした。

3 安全就業対策

- ① シルバー事業において最も重要な課題であり、コロナウイルス感染に十分注意しながら、特に就業時の健康状態は自分自身で十分把握していただき、事故・怪我防止の啓発に努めました。
- ② 安全はすべてにおいて優先されることを会員一人ひとりに周知し、安全就業の徹底を呼びかけました。
- ③ 安全パトロールを9回、全31か所で実施し、作業方法等について安全指導を行いましたが、令和3年度は計20件の事故が発生しました。また、今まで事故が起こったことのなかった派遣事業で3件の事故が発生しました。
- ④ 県連合主催の安全就業推進大会に参加しました。また、草刈班、剪定班、派遣班について、職群班別講習会を実施しました。

4 自主財源の確保

- ① 事業運営費収入の根幹である運営費補助金の確保、コロナ禍の厳しい中、事業費収入の確保を公共、民間、家庭に理解賛同を得られるよう周知し、就業の確保に努めました。
- ② 派遣事業について、公共・民間ともに働きかけ収益の充実に努めました。

5 社会奉仕活動の推進

- ① 各地域での奉仕活動の実施
今年度も前年度と同様すべて中止となりました。
- ② 地域の行事、公共団体等への事業参画として参加していた、土岐市社会福祉協議会主催の福祉まつりは、前年度に続き中止となりました。

6 新規開拓事業の推進

- ① 多様なニーズに対応できる体制づくりを行い、新たな就業機会の確保に努めました。
 - ・機関紙「シルバー土岐」にて情報提供及び会員募集をしました。
 - ・就業相談を開催し、就業を希望する会員に適宜対応しました。
- ② 新総合事業に積極的に参加できるよう会員の獲得養成に努めました。事業への参入は市役所担当課と協議中です。

7 適正就業の推進

- ① 事業理念、就業条件等、会員に平等な就業機会を提供するため、全会員に対して意向調査を行い、会員が希望する職を提供できるようローテーション就業を実施し、ワークシェアリング（分かち合い就業）の精神で会員の長期的・継続的就業の解消や未就業会員の解消を図りました。
- ② 法令遵守の観点から労働者派遣法に基づいた適正就業を目指し、派遣実施事業として努力しました。
 - ・県連合会主催の安全就業推進大会に参加しました。

8 介護予防事業及び福祉施設の後方支援となる事業

- ① 身近な人に役立つ「人にやさしい介護の基本」を念頭に介護に役立つ料理教室、新総合事業への参入や介護補助員の養成を目的とした介護講習会を開催する予定でしたが、今年も新型コロナウイルスの影響で中止いたしました。
- ② 高齢者の方が可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう地域での生活を総合的に支援するため、コロナ感染防止に努めながら高齢者サロンを開催しました。

| | | | | | |
|-------|------|-------|--------|--------|-------|
| ・泉地区 | 6回開催 | 22名参加 | ・土岐津地区 | 6回開催 | 5名参加 |
| ・駄知地区 | 5回開催 | 25名参加 | ・肥田地区 | 5回開催 | 0名参加 |
| ・妻木地区 | 3回開催 | 13名参加 | ・下石地区 | 6回開催 | 11名参加 |
| 合計 | 31回 | 76名参加 | 動員会員数 | 延べ140名 | |

9 子育て支援事業

- ① 託児・家庭での育児支援、産前産後の支援、育児教室等の支援事業の推進を図り、地域の若い親さんの多様な要望に応えられる子育て支援を目的に、コロナ感染防止に配慮しながら育児支援、産後の支援、育児教室、子育て相談等の支援事業を行いました。
 - ・0～3歳児を対象に5月～翌年3月の第3水曜日に親子育児教室を開催しました。新型コロナウイルスの影響で11回開催予定のうち4回は実施できず、7回の開催でした。親子延べ50名の参加がありました。
- ② 各地区で開催される高齢者サロンと合わせて、子育て応援サロンを開催しましたが、全会場で参加者はありませんでした。

10 高齢者世帯生活サポート事業

高齢者が在宅生活を営む上で、若い世代であれば簡単な家事でも支援が必要な高齢者にとってはままならない、ちょっとした日常的な作業を、元気な高齢者（会員）が有償でサポートすることで、住み慣れた地域で安心した生活ができるようワンコイン事業を実施しました。

- ・ワンコイン100円 25世帯 629回
- ・ワンコイン500円 6世帯 178回

11 高齢者世帯見守り事業

高齢者の多くができる限り住み慣れた地域、自宅で暮らすことを望んでいます。センターでは、安否確認や声かけが必要な高齢者に対して定期的に訪問する高齢者世帯見守り事業を実施しました。

- ・見守り 1世帯 18回